

です。講師はヤマテンの猪熊隆之さん、国立登山研修所の専門調査委員長の北村憲彦さんと小生が務めます。

その3、長野県体育センター 高校生が安全に登る冬山・春山登山 11月20日に信州スカイパーク体育館を会場に行われます。高校山岳部顧問を対象に、冬山シーズンを前に、長野県教育委員会が策定した「高校生の冬山・春山登山における安全確保指針」を踏まえ、事故を未然に防ぎ、安全に楽しく登山を実施するための留意点を学ぶ講座です。

5月針ノ木で合同合宿を組みませんか

那須の事故を受けて、昨年からは長野県山岳総合センターの高校登山研修会がなくなってしまった。毎年5月に行われてきたこの研修会は、センター開設以前から針ノ木雪渓をフィールドに中信の高校山岳部が自主的に行っていた歴史のある研修会である。今の3年生は一昨年のこの講習会を高校山岳部の洗礼とばかりに、強烈な印象をもって覚えているようだ。昨年は伝統の灯を消したくないという思いもあったし、生徒たちからもぜひやってほしいという希望があったこともあり、例年と同じ時期（5月第2週）に大町岳陽の生徒だけで入山した。

今年にはいって、2、3年生と今年の計画を立てていると、生徒からは「この5月の針ノ木だけはどうしても外せない。新入生にもぜひ経験させたい」という声が出てきた。生徒たちには残雪期の美しい山を体験する中で、山の素晴らしさと厳しさを学んでほしいと思っているが、その狙い通り生徒たちには印象深い山行なのだ。それで今年も5月11日～12日にかけて雪上訓練をするつもりである。一校でやるよりは、複数の高校でやった方が生徒たちにも刺激になる。楽しいことはみんなでやればもっと楽しくなる。

新人訓練の場として、一緒にやれる学校があればぜひ声をかけてください。合同訓練が可能です。

編集子のひとりごと



前号で紹介した「雪崩サーチ&レスキュー講習会」の内容はかなりディープで一回だけではなかなか身につかないと思った。それで講習会と一緒に参加した池迫さんと今年から大町岳陽高校への赴任が決まった河竹さんに声をかけて、年度末の3月31日に復習の機会を

もった。今回は、入山前のビーコンのグループチェック、エアポートアプローチ、マイクロサーチストリップ、マイクロボックスなどをさらってみたが、そのときはわかったつもりになったことでも実際に人に教えるとなるとあやふやなままではものにならないということに改めて実感した。（大西 記）